

平成三〇年度青森県支部主催俳句大会成績

角谷昌子選

天位	やませ来て細やかになる農日記	阿久津凍河
地位	代掻機田植機エンジン響き合ふ	小笠原聖子
人位	修二の忌昨日と同じ鍋使ふ	松宮梗子

高得点句

1位	やませ来て細やかになる農日記	阿久津凍河
2位	岩木嶺を背負うて一人代を掻く	藤田明子
3位	紙風船打てば円周率歪む	前田良三
4位	鯉跳ぬる水輪大きく五月来る	三ヶ森青雲
5位	花莫塵を敷きていたこは死者の声	杉山畝女
6位	待つ母のゐて植田より足を抜く	小笠原聖子
7位	手をつなぐだけの孝行夜店の灯	くどうひろこ
8位	みづうみは光の器ぶな新樹	佐藤幸子
9位	白樺の芽吹きを競ふ農学校	能登谷明子
10位	六人を育てし母や昭和の日	須郷権太
11位	日本海見に行きたくて夏帽子	花田晶子
12位	抜け殻にまだ蟬の声土の声	笹原郁子
13位	単線の行きつく郷や花りんご	小野寺和子
14位	決を採る教室に飼ふ金魚の名	高橋秀東
15位	鳥はねて揺るる鳥籠けふ立夏	西川無行
16位	メモ帳の取り出し多き四月かな	宮川暢子
17位	吾が影が吾を離るる木下闇	今順子
18位	少年の頃の傷跡更衣	橋本惇子
19位	よく回る五基の風車や牧開き	佐藤いく子
20位	筍の土割る力食うべけり	佐藤幸子